

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	豊見城総合公園体育施設機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成	
担当部課名	教育部	生涯学習振興課	事業実施年度	平成28 ~ 平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件、計画的な整備を推進するための検討を進め、市民のスポーツ振興及び競技力向上と観光客等の増加により地域活性化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	12,572	11,654	558,877		583,103	
	B. 執行済額	12,571	11,654	558,877		583,102	
	うち 交付金充当額	10,560	9,322	447,101		466,983	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	
執行状況の説明	・平成30年度生産ラインの逼迫により備品購入費を29,301千円翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は100.0%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	○年度	○年度
	基本計画の検討	目標	基本計画検討実施				
		実績	基本計画検討実施				
	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の実施	目標		実施設計の実施			
		実績		実施設計の実施			
豊見城総合公園体育施設機能強化計画に基づく現場技術委託、土木工事の実施、備品整備	目標			総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事業務の実施・備品整備			
	実績			総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事業務の実施・備品整備			
事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	○年度
	基本計画の取りまとめ完了	目標	取りまとめ完了				
		実績	取りまとめ完了				
	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の完了	目標		実施設計の完了			
		実績		実施設計の完了			
総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事完了及び備品整備	目標			工事完了 備品整備完了			
	実績			工事完了 備品整備完了			

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	○年度 目標/発現年度	
	・合宿誘致件数		目標	5件	5件	5件	5件	5件
			実績	7件				
	・利用者数等: 30,000人 (R2年度)		目標		30,000人			
		実績		-				
状況説明		【R1年度】 ・スポーツ合宿誘致件数においては目標を年間5件としているが、令和元年度においては7件の受入実績となった。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・合宿誘致件数の受入実績が7件となっていることから、成果目標については、達成できた部分があるが、更なるスポーツコンベンション誘致推進のためには陸上競技場メインスタンドについてパラアスリートも含めた受入が行えるように整備する必要がある。 ・R1年度においては、年末よりコロナウイルスの感染拡大が起きており、令和2年度においてはコロナウイルスのコントロールを含めた対策を講じた上での受け入れ態勢の整備が必要となる。				【R1年度】 ・合宿誘致を行う中で合宿受入を実施したアスリートにアンケートを実施し、更なる施設整備に反映できるように検討する。 ・コロナウイルスの感染拡大対策のための受入施設のガイドラインを作成の上、キャンプ効果が出るような受け入れ態勢の整備を検討する。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R1年度】 ・スポーツキャンプを行う中で合宿受入を実施したアスリートにアンケート調査を実施し、陸上競技場メインスタンドを含めた受入施設整備を検討するとともに、コロナウイルスの感染拡大防止のためのコントロールを含めた対策を盛り込んだ受け入れ態勢の整備を検討する。								

市町村名	豊見城市						
沖繩振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	戦争体験等映像化事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり		
担当部署名	教育部	文化課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 30	年度 沖繩振興基本方針 該当箇所	
事業内容	沖繩戦終結から70年以上が経過し、体験者が自語り記憶を継承することが困難になってきている。そこで、沖繩戦を含めた「アジア・太平洋戦争」の体験者取材し、個々の証言等を基に映像資料を編集制作し、平和を伝える学習材を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	4,188	5,246			9,434	
	B. 執行済額	4,139	5,245			9,384	
	うち 交付金充当額	3,311	4,196			7,507	
	執行率(%) (B/A)	98.8%	100.0%			99.5%	
執行状況の説明	適正な積算と計画の結果、事業計画通りに執行を行えた。						
事業期間中の 活動目標	証言撮影	活動目標(指標)	達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	ダイジェスト版の製作	目標	20名	10名			
		実績	20名	11名			
		目標		完成			
		実績		完成			
事業期間中の 成果目標	映像化素材の収録	成果目標(指標)	進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	証言映像30名分の完成 学習材の整備完了	目標	20名				
		実績	20名				
		目標		30名			
		実績		31名			
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	整備した学習材を活用した企画展示会の来場者数	目標	600人				
実績		995人					
	目標						
	実績						
状況説明	【R1年度】 ・豊見城市歴史民俗資料展示室にて企画展を開催し、来場者数が目標600人を超える995名を達成した。 ・企画展に合わせてハンドブックを300部作成し、専門家を招いて文化講座を開催した。 ・動画共有サービスYouTubeで合計33本の映像を公開を行い、令和2年3月31日までに総計300,497回再生されている。 ・市内学校に配布を行い、平和学習の取り組みで使用している。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R1年度】 ・目標であった企画展の入場者数も達成し、事業効果が想定通りに発揮されている。また、インターネットを通じた公開を事業完了後に行えたため、DVD等メディア配布よりも効果的に公開ができていた。	【R1年度】 ・より多くの市民等に公開するためインターネットを通じた公開を行っているため、アクセス数のモニタリングが必要である。 ・平和教育に活用を促すため、学校などに必要な資料提供を行う必要がある。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・インターネットを通じた公開を行うことで、映像資料の存在をアピールする。 ・映像資料を中心としたホームページを作成し、平和学習に使いやすい環境を整備していく。
--

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	龕(饒波)修復事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり	
担当部課名	教育部	文化課	事業実施 年度	平成 27	平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	豊見城市の葬制文化を伝える資料である「龕」を修復し、企画展等で活用することで、地域独自の民俗・祭祀・葬制等といった地域文化の伝承を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	5,778	0	1,880	1,739	9,397	
	B. 執行済額	5,778	0	1,739	1,674	9,191	
	うち 交付金充当額	4,662	0	1,391	1,339	7,392	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	0.0%	92.5%	96.3%	97.8%	
執行状況の説明	適正な積算と計画の結果、事業計画通りに執行を行えた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	龕の防腐防虫等の保存処理	目標	1基				
		実績	1基				
	修復計画・基本設計図	目標			作成		
		実績			完成		
龕の修復作業	目標				修復実施		
	実績				修復実施		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	龕の保存処理完了により復元方法を決定	目標	復元方法 の決定				
		実績	保存処理の 完了				
	龕の修復作業の完了	目標			基本設計図 作成	修復完了	
		実績			基本設計図 ・レプリカ 完成	修復完了	
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	企画展示会の来場者数	目標	600人				
	実績	838人					
	目標						
	実績						
状況説明	【R1年度】 ・豊見城市歴史民俗資料展示室にて企画展を開催し、来場者数が目標600人を超える838名を達成した。 ・企画展に合わせてハンドブックを300部作成し、専門家を招いて文化講座を開催した。 ・文化財保護審議会の答申を受け、豊見城市の有形民俗文化財として文化財指定した。 ・企画展後も常設展示として公開し豊見城市の葬制文化を伝えている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・目標であった企画展の入場者数も達成し、事業効果が想定通りに発揮されている。また、修復事業をおこなったことで、歴史的な価値が評価され市指定文化財となったことは当初の想定以上の成果である。			【R1年度】 ・より多くの市民等に公開するため常設展示となっているため、年間通して入場者数のモニタリングが必要である。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・常設展として市民等の公開を行いつつ、ホームページ等を通じて外部への発信も行っていく。							